

予防接種の間隔について (令和2年10月～改正されました)

任意予防接種費用の助成



～希望される方に費用の一部を助成します～

○ おたふくかぜ

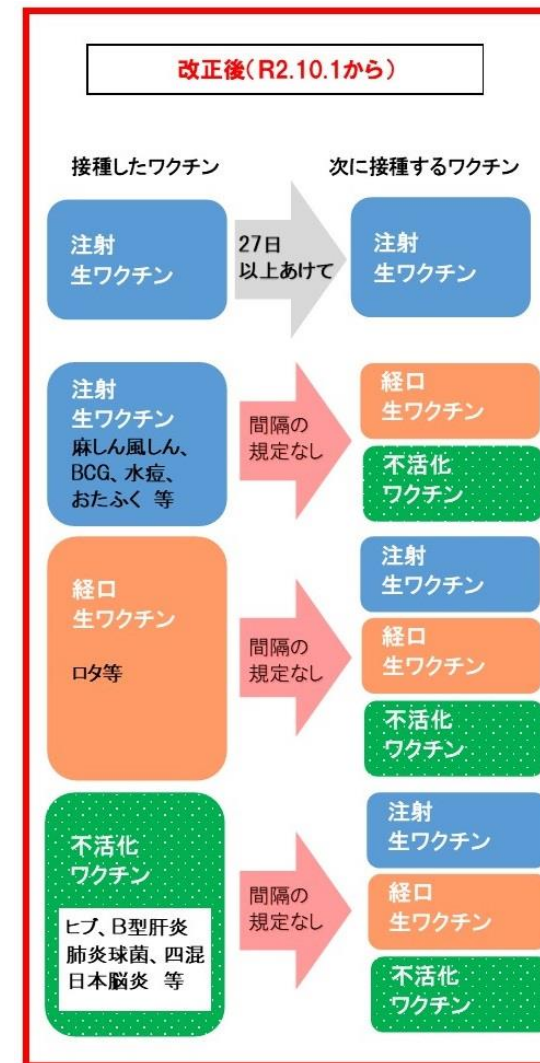
種類	対象者	回数	1回あたりの助成額
おたふくかぜ 注射生	1歳～2歳未満	1回	3,000円

※北村山地区内の実施医療機関で接種すると、窓口で助成額分(3,000円)が差し引かれて残額分が自己負担になります。
詳しくは、対象児に配布しているお知らせや市ホームページをご覧ください。

○ 子どもインフルエンザ(予定)

種類	対象者	回数	1回あたりの助成額
インフルエンザ 不活化	接種日当日に6か月～18歳になる学年(高校3年生相当)	6か月～12歳: 2回まで 13歳以上: 1回	1,900円

※助成は、令和5年10月1日から開始される予定です。
開始が近くなりましたら、市報(10/1号)やホームページ、市内実施医療機関に掲示されるポスター等でお知らせします。



注射生ワクチンの接種後、別の種類の注射生ワクチンを接種する場合は27日以上の間隔をおいて接種します。

例①麻しん風しん注射生を10/1に接種したら
水痘注射生は10/29から接種可能

不活化ワクチン接種後の間隔は定めがありません。

※ただし、同一種類のワクチンを複数接種する場合の間隔は、それぞれ定められている間隔になります。

例②水痘注射生 1回目と2回目の間隔は
6～12か月あける

例③ヒブ不活化 1回目と2回目の間隔は
27～56日(4～8週間)あける

同時接種について

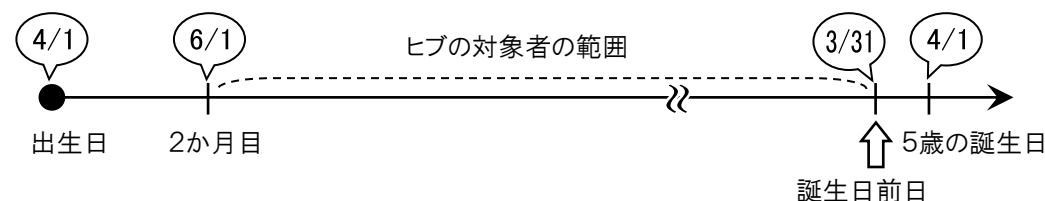
医師が必要と認めた場合、複数の予防接種を同時に接種することができます。

対象者の考え方について

△か月～◎歳未満 とは

生まれた日から△月後の同じ日から、◎歳の誕生日の前日までのことです。

例) 4/1生まれの方がヒブ(対象者:2か月～5歳未満)を受ける場合
6/1から、5歳の誕生日前日の3/31まで接種が可能



出生◆週◇日後 とは【ロタウイルスワクチン対象年齢と標準的な接種期間の考え方】

ロタウイルスワクチンの初回接種(1回目)は、生後「6週0日後」から接種が可能になりますが生後「2か月」から「14週6日後」までの期間に受けることが推奨されています。

※生まれた日の翌日を「出生0週1日後」とします。

「6週0日後」とは、6週間後の同じ曜日(約1か月半)のことです。

「14週6日後」は、生まれた日から14週間後+6日目(約3か月10日)のことです。

日	月	火	水	木	金	土
				10/1 生まれた日	10/2 0週1日後	10/3 0週2日後
10/4 0週3日後	10/5 0週4日後	10/6 0週5日後	10/7 0週6日後	10/8 1週0日後	10/9 1週1日後	10/10 1週2日後